

平戸市議会だより

とかいせん



▲去る1月20日に開催された大島村第13回新春水仙ロードフェスティバル ～新春を駆けぬける～

12月補正予算決まる！

第33号

平成25年2月1日発行
12月定例会報告

12月定例会で審議された案件と結果	2～3
委員会活動報告!	
総務常任委員会	4～5
産業建設常任委員会	6～7
文教厚生常任委員会	8
決算特別委員会	9
西九州自動車道整備促進特別委員会中間報告	9

市政を問う! 12名の議員が一般質問に登壇	
綾香 良一議員、竹山 俊郎議員	10
山崎 一洋議員、川上 茂次議員	11
大久保堅太議員、近藤 芳人議員	12
小川 隆友議員、田島 輝美議員	13
浦 莊藏議員、平石 博徳議員	14
宮本 利男議員、山田 能新議員	15

トピックス!	16
シリーズ ふるさと宝さがし	
ひびき	

シリーズ
ふるさと

宝

さがし

大島編

【取材：田島輝美委員】

文化遺産 「五乗寺」跡

大島村の山西部の高地に五乗寺という地区がありま

す。この地には「五乗寺」と言われるお寺の跡が今も残っています。

五乗寺の起源は、松浦市鷹島沖で現在注目され海底調査がおこなわれている「元寇」に関連しています。その昔、文永の役（1274年）・弘安の役（1281年）といわれる「元寇」は中国を統一した元が数万人といわれる大船団を率いて平戸、鷹島沖から博多に至る北部九州を襲撃し大きな

被害を受けています。2度とも暴風により元軍は撤退したといわれますが、当時の鎌倉幕府は弘安の役後も

こういつた異国からの襲撃等に備え異国船警護を厳重にし、大島にも多くの武士を派遣しています。その武士達の根拠地が五乗寺地区であり、その武士たちにより寺院が建立されました。その寺院名が「五乗寺」でありその後、廃寺となりましたがそのまま「五乗寺」の地名が残る現在の山湾を見下ろす場所に現存しています。



▲五乗寺跡からの山湾を望む

ひびき

平成24年をふり振り返り、市民の皆様にはどんな一年でしたでしょうか。

年末には衆議院選挙で政権が交替し、安倍政権が発足し、緊急経済対策に取り組んでいます。若者達の雇用を創出し、安全・安心の暮らしを支え、日本人が希望と自信の持てる国づくりの政治を期待します。

10月には佐世保市のハウステナポスを主会場に第10回国和牛能力共進会が常陸宮殿下御夫妻の御臨席を賜り開催され、大会の参観者は48万人を記録し、県内の経済効果も110億を超える大盛会でありました。

全国38道府県から480頭の出品がされましたが、2年前の口蹄疫や一昨年の東日本大震災や、放射能汚染など、大変厳しい状況の中からの出品もあり敬意を表します。

長崎県はこの大会で肉牛第8区で日本一に輝き、出品全頭が優等賞と素晴らしい成績でした。今後の長崎和牛のブランド化に向けて関係機関一体となって取り組まれることを期待します。

(小川 隆友委員)

